

製品名: CD158z ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab08230

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	KIR3DL3
別名	KIR3DL3; CD158Z; KIR3DL7; KIRC1; Killer cell immunoglobulin-like receptor 3DL3; CD158 antigen-like family member Z; Killer cell inhibitory receptor 1; CD158z
遺伝子 ID	100133046.0
SwissProt ID	Q8N743
免疫原	抗血清はヒト KIR3DL3 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

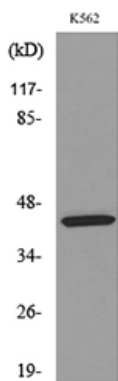
背景

キラー細胞免疫グロブリン様受容体、3つのIgドメインおよび長い細胞質テール3 (KIR3DL3) ホモサピエンス キラー細胞免疫グロブリン様受容体 (KIR) は、ナチュラルキラー細胞およびT細胞のサブセットによって発現される膜貫通糖タンパク質です。KIR遺伝子は多型性があり、高い相同性を有し、1 Mb の白血球受容体複合体 (LRC) 内の染色体 19q13.4 上のクラスターとして存在します。KIR 遺伝子クラスターの遺伝子内容はハプロタイプによって異なりますが、いくつかの「フレームワーク」遺伝子はすべてのハプロタイプに存在します (KIR3DL3、KIR3DP1、KIR3DL4、KIR3DL2)。KIR タンパク質は、細胞外免疫グロブリンドメインの数 (2D または 3D) と、長い (L) 細胞質ドメインと短い (S) 細胞質ドメインの有無によって分類されます。長い細胞質ドメインを持つ KIR タンパク質は、免疫チロシン阻害モチーフ (ITIM) を介してリガンド結合時に阻害シグナルを伝達する一方、短い細胞質ドメインを持つ KIR タンパク質は機能を持たない: ナチュラルキラー細胞上の受容体。NK細胞の活性を阻害し、細胞溶解を防ぐ可能性がある。、類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属する。類似性: 3つのIg様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを含む。、

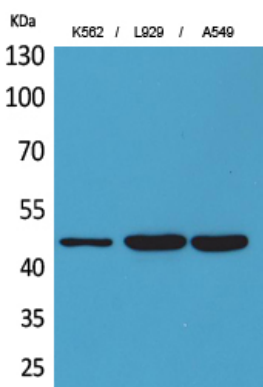
研究分野

抗原の処理と提示;

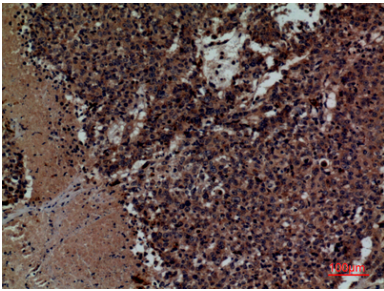
画像データ



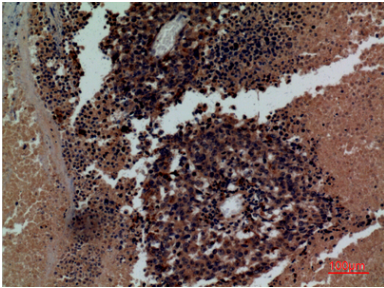
KIR3DL3 抗体を使用した K562 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



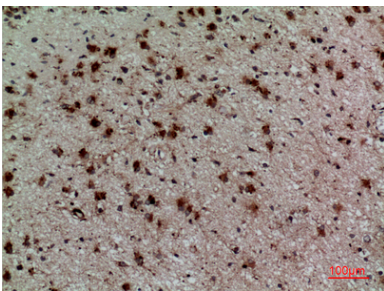
CD158z ポリクローナル抗体を用いた K562、L929、A549 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



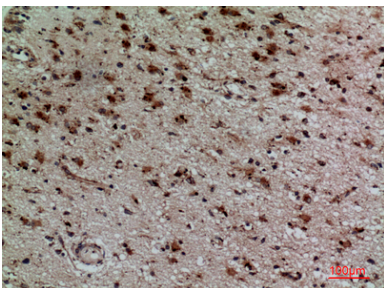
パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された